第 2014-17 号

恵みと真理のニュース

2014 年 4 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 神様は娘のアトピを治してくださり 私達の家庭を祝福に変えてくださいました。

私は 1984 年に知りあいの方に伝道され旦那と共に恵みと真理教会に行って決信し、神様を礼拝し仕える信仰生活を始めました。しかし、初めの頃は救いの確信がないまま空聞きしながら教会に通いました。旦那もたまには男性区域礼拝まで参加しながらも信仰が成長しなく形式的な信仰生活にとどまりました。さらに旦那が新しい事業をして私も旦那の事業場で仕事を手伝って忙しくなり礼拝を疎かにして長い間神様を仕えることをまじめではなかったです。そうするうちに私達の家庭に大きい試練が来ました。愛する娘が学校へ行けないくらい酷いアトピ皮膚炎に患ったのです。症状が酷くなり韓国にあるアトピ皮膚炎治療専門病院を探し回りました。また、治療の効果がある健康食品と薬なら全て求め食べさせ飲ませましたが病状は変わりがなくむしろ症状がもっと悪化されていきました。娘が高校の進学を前もって肌があまりにもかゆくて痛くて全く寝られなく苦しまれ勉強に集中もできませんでした。私は医師に娘がもうすぐ高校に進学しなければならないので早く治療してくださいと願いました。医者は私に“今、子供の状態があまりにも酷いのに勉強が大事ですか？”と叱るほどでした。
私は“娘がもう学業まで諦めなければならないのか”とひどく落段して挫折しました。そして限りなく低して貧しい心で神様の御前に出ました。今まで人の考えと経験と理性で判断して神様に持っていた不信仰を涙を流しながら悔い改めました。礼拝を疎かにし神様を仕えなかったことも悔い改めながら神様を許し求めました。イエスキリストを真実に信じる者を救ってくださり全能なる神様、慈しみ深い神様の愛を仰ぎました。礼拝時間にはもとよりいつどこでも真実に神様に祈りました。 12 年間出血が止まらないで苦労した女と二人の盲人の目を開けてくださったイエス様を考え“イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。”（マタイの福音書　9：３５）
“イエス.キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることのない方です。”（ヘブライ人への手紙１３：８）という御言葉を黙想し毎日のような神様に求め祈りました。
（出エジプト記１５：２６） 言われた。「もしあなたが、あなたの神、主の声に必ず聞き従い、彼の目にかなう正しいことを行い、彼の命令に耳を傾け、すべての掟を守るならば、わたしがエジプト人に下した病をあなたには下さない。わたしはあなたをいやす主である。」という御言葉の通り“これから神様の御言葉に従順して神様の掟を守る事に力を使います。”と約束しながら神癒の恵みを求めました。
ある日教会から帰って来た娘はこれから薬も飲まなくて塗り薬も皮膚にも塗らないと宣言しました。私は心配でしたが一方、娘が長い間ひどい薬を飲んでも肌に塗ったにも関わらず言葉では表現できないほど苦痛を患ったので娘がかわいそうで気の毒でした。それで神様の恵みで治療されることを願い、娘の意見を従いました。娘が高校に入学してから驚くほど肌がよくなりきれいになりました。ついに“わたしを愛する人をわたしも愛し／わたしを捜し求める人はわたしを見いだす。”(箴言８：17)神様の約束の御言葉が答えられました。 生きていらっしゃる神様は私と娘の切ない祈りに答えてくださり癒してくださいました。ハレルヤ！そればかりでなく私達が娘とよい環境で生活するようにカントリーハウスも与えてくださいました。私達を見ながら周りの多くの人々も共に神様に栄光を捧げ神様を賛美しました。
娘が病気を患うあいだ神様は私に聖霊の洗礼を与えてくださり聖霊に満たすようにしてくださいました。救いの信仰になり心の恨みと不平がなくなり私の口からいつも信仰と肯定的な希望の言葉をするように変えてくださいました。神様の子供のように“まず神の国と神の義を求める”信仰と従順する人生に導かれました。
神様は娘の病気だけでなく様々な面でも完全に治療してくださり環境も祝福させ変えてくださいました。
娘に尊い才能をくださった神様は進学の扉も開いてくださり美術大学を卒業して自分が願った通り会社でデザイナとして頑張って仕事するようになりました。今までは旦那がいくら自ら禁煙を決心してもすぐタバコを吸ったりしましたが神様の恵みで最近は完全にタバコをやめるようになりました。礼拝中に当会長の牧師の説教で“ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さる、神の愛と権能に関してお話を聞くとき恵みと今まで体験から出る感動で私の心がいっぱいになりました。礼拝時間ずっと目では神様に向かう愛と感謝の涙が止まらなかったです。全ての栄光を神様に捧げます。
私はこれからは愛する旦那のため祈っています。男性区域長の職分を受けましたがまだ真面目で忠誠に担えない旦那が聖霊で満たされ私と共に主と区域をよく仕え福音を伝えることに力を入れて励みになるようにしてくださる事を信じます。 “神の約束は、ことごとくこの方において「然り」となったからです。それで、わたしたちは神をたたえるため、この方を通して「アーメン」と唱えます。”（コリント信徒への手紙二 1：20）アーメン　ハレルヤ！

［信仰コラム］ 祈りの原理(1)

″祈りを聞く主よ、すべての肉体が住に現れる″(シ65:2)

信仰生活において祈祷する楽しさを体得する前までは霊的な生活のゴール前でうろうろしている状態です。神様にお祈りした特権と有益がどれだけ大きくて様々な街を知っていたら、祈りが生活化することになります。聖徒が神に祈りすることをよく呼吸で比喩します。お祈り□2392;いう信仰生活に必要的な要件であると一緒に祈祷は難しいことがないということを意味するものです。しかし、呼吸は学ばなくてもでも試みているのは、学ぶべきことがあります。聖徒は私たちが祈りするのに必要な知識を十分に提供しています。お祈りに関する聖書の教えを 7 つの質問に答えにより整理してみます。

第一に、誰に祈りしなければならないのかという質問に答えます。人たちが様々の神々がいると信じており、信奉しても事実はいろいろな多様な神というものは存在しません。聖書に啓示された神様以外はございません。
様々な神様がいるというのはサタンの手品であり、人間□ 2398;観念から始まったものに過ぎません。祈る者は必ずしも聖書に啓示された神に祈りしなければなりません。

第二に、誰が神に祈りすることができるかという質問に答えます。息を休むのに身分や資格が必要なものがないように神に祈りにあたってもそうです。老若男女、貧富貴賤、人種の差別がありません。神様に訴えて懇請しなければならない問題を持った人、神様の助けが必要な□0154;は誰でも神に祈りすることができます。

第三に、いつお祈りしなければならないのかという質問に答えます。適切な祈祷の時間を定めるところにあって私たちが画一的にその時間を定めることはできません。神に祈りする時間は制限されていません。人々の生活と状況に応じてもっとも良い時間を定めて祈祷しなけれ□2400;なりません。大事なのはお祈りする習慣を持つことです。

第四に、どこでお祈りしなければならないのかという質問に答えます。神様はどこでも私たちの祈りを聞きます。ただ、私たちが心を集中してお祈りしたり、長時間お祈りするか、声を出して祈祷する場合、そして、多くの人が集まって祈祷する場合に適した環境、適切な場所□2434;選択して用意する必要があります。教会は多数の信者が集まって祈りするのに最も適切な場所です。神様はイザヤ書 56 枚 7 節の言葉を引用して聖戦を指して″私の家は万民の祈りする家ということを投入されることをしなかったのか″しました。

五つ、なぜ祈祷しなければならないのかという質問に答えます。お祈りは神様との対話であり、神様と交通する手段です。お祈りを通じた神様との交通は何よりも私たちの霊と人生を美しくことです。私たちが祈祷しなければならない、他の理由は全能の神様が私たちの玩具に□2238;答してくれないからです。私たちが祈祷しなければならないのは神様に私に祈りするよう命令したからです。

六番目、何をお祈りするのかという質問に答えて差し上げます。信者は肉体的な必要な事や、自分の私的な必要については祈念してはならないと教える人がいます。そのような教訓は聖書の教えがありません。聖書は私たちに’何でも’求めとしました。’何でも’’あらゆる求めるの’｛ 92;いうお話中には霊肉間のすべてと自分と他人の必要なものまですべて含まれます。

最後の一つ質問な 7 番目は’どのように祈るのだろうか’です。この質問に対する答えは次の号のコラムで見てみます。皆さんは、祈祷に対する聖書の知識の基盤の上で祈祷する楽しみにしてください。そして回答している神様の手を豊かに体験しながら生きていけるように願います。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

あなたがたの腰を締めなさい

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

“あなたがたの腰を締めなさい”と言ったが“締めなさい”と言う言葉はひもや輪なんかで腰を巻くとかかけるとかして締めなさいという意味です．むかしのユダヤ人たちは頭部分と両腕部分に穴があいた袋の模様の筒が広くて長い服を着ました．だから仕事をするとか駆け競べや戦闘する時のように素早く身を動かなければならない場合には腰を帯で締め付けました．イスラエル子孫たちが 430 年の苦しいエジプト生活に終わった過越節の夜でした．モセが彼らに指示するのを **“あなたがたは、こうして、それを食べなければならない。すなわち腰を引きからげ、足にくつをはき、手につえを取って、急いでそれを食べなければならない。これは主の過越である。”(出エジプト記 12:11)** しました．イスラエル子孫たちは子ひつじの肉を火に焼いて無酵のパン（種入れぬパン）とともに食べました．その時彼らは腰巻を堅たくくくりました．出発の命令がおろせばまっすぐに去るようにするためからです．“腰を締めなさい”“腰巻を帯びなさい”と言う言葉が新約の聖書にも多くの所にあります．今日はこのような言葉が記録された聖書の句節をよく見ることで教訓を得るようにします．

第一は、エペソ人への手紙 6 章 14 節に記録された言葉です．“すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当を胸につけ、” しました．

エペソ人への手紙 6 章 10 節から 17 節には聖徒たちが当然に争わなければならないけんかの性格と霊的な武具の必要性を言及しながら聖徒が取らなければならない神様の武具に関して紹介しています．その一番目が “腰巻を帯びなさい”と言う命令です．腰巻は身を締め上げるようだが実際では身を自由にして力が強く活動するようにしてくれます．“真理”であなたがたの腰巻を帯びなさいとおっしゃいました．真理が何ですか？第一，救いの福音が真理です．**エペソ人への手紙 1 章 13 節に “あなたがたもまた、キリストにあって、真理の言葉、すなわち、あなたがたの救の福音を聞き、また、彼を信じた結果、約束された聖霊の証印をおされたのである。”**と記録されました．福音はイエスキリストのあがないの使役でよる救いの消息です．聖書は救いの福音に対して記録された本です．

“真理の言葉すなわち救いの福音”と言いました．だから聖書外には真理の言葉がないです．救いの福音が啓示された本は聖書だけなので聖書だけが真理の言葉です．第二，イエスキリストが真理です．イエスキリストが親しくおっしゃるのを **“イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。”(ヨハネによる福音書 14:6)**と言いました．**“真理の腰巻を帯びなさい．”**

“真理で腰を締めなさい．” この言葉は **“救いの福音が生の中心を占めるようにしなさい．”**

“イエスキリストが中心にいらっしゃるようにしなさい．” この意味です．

イエス様の弟子たちが 3 年半の間イエス様を付きまとったが皆が自分中心の目的を持ってイエス様を追い回しました．彼らはイエス様が王になるように願いました．そのようになって自分たちが権力と富みを得るようになることを夢見ました．弟子たちはイエス様が逮捕する時にすべて逃げました．イスカリオテのユダはイエス様を祭司たちに売ってしまいました．ペテロはイエスキリストが審問を受ける現場で公開的に自分はイエス様の弟子ではないと否認しました．しかし復活したイエス様にお会いした後から弟子たちはすべての事をイエス様の中心に思って判断しながら行動しました．真理で腰巻を帯びて生きて行きました．

二番目は、ペテロの第一の手紙 5 章 5 節に記録された言葉です．

“若い人たちよ。長老たちに従いなさい。また、みな互に謙遜を身につけなさい。神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜うからである。” と言いました．

ここに “腰を締めなさい”と言う言葉は当時に奴隷たちが前掛けを服の上にかけてひもで腰に縛ることを描くのです．まるで奴隷が主人を仕えるために前掛けを腰に縛るように仕えることの姿勢を持ちなさいという意味です．“謙遜で腰を締めなさい”と言いました．謙遜はキリスト教の徳目の中で最高になります．旧約聖書の箴言書には驕慢と謙遜を備えた教訓がたくさん記録されています．**“彼はあざける者をあざけり、へりくだる者に恵みを与えられる。”(箴言 3:34)**，**“高ぶりが来れば、恥もまた来る、へりくだる者には知恵がある。”(箴言 11:2)**，**“人の心の高ぶりは滅びにさきだち、謙遜は栄誉にさきだつ。”(箴言 18:12)**，**“人の高ぶりはその人を低くし、心にへりくだる者は誉を得る。”(箴言 29:23)**．イエス様はおっしゃるのを **“わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。”(マタイによる福音書 11:29)**と言いました．

それでは聖書が教訓する謙遜の意味と謙遜な姿勢は何ですか？謙遜は何よりも神様との関係で扱われなければなりません．神様との関係で謙遜の姿勢は大きく二つで分けることができます．

第一，すべての光栄を神様に帰するのです．バビロンの王ネブカデネザルが自慢に沈んで神様に帰さなければならない光栄を自分に帰する時に獣の気が入って野で獣のように生活した事があります．ヘロット王も自慢に沈んで神様に帰する光栄を自分の事に思ってから神様が打つので悽惨に死にました．神様に感謝と讃尿を差し上げて神様に光栄を差し上げるのが謙遜です．

第二，神様を信頼とその命令に従順するのです．神様の言葉が理解できなくても信じて従順しなければなりません．神様のなさる仕事が心に当たらなくても信じて従順しなければなりません．人間関係で謙遜な姿勢は **“何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。”(マタイによる福音書 7:12)** イエス様のお話に現われています．他人を気くばりする心ですべての事を行う人が謙遜な人です．**“若い人たちよ。長老たちに従いなさい。また、みな互に謙遜を身につけなさい。神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜うからである。だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるであろう。”(ペテロの第一の手紙 5:5,6)**と言いました．

三番目は、ペテロの第一の手紙 で 1 章 13 節に記録された言葉です．“それだから、心の腰に帯を締め、身をつつしみ、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい．

使徒ペテロは “心の腰を締めなさい”と言いました．これは競走をするとか，重要な事を行なうことのように気を付けて行いなさいという意味です．聖徒たちは神神しい緊張を延ばさないようにしなければなりません．“心の腰を縛って謹身しなさい” しました．“謹慎”と言うのはつつしんで自重するのです．言行をつつしんで気を付けるのです．**コリント人への第一の手紙 10 章 12 節に “だから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけるがよい。”** しました．これが謹身する姿勢です．

聖徒らが倒れてかつらくするようになる原因を三種類に大別することができます．**第一**，逼迫があります．イエスキリストが親しくおっしゃるのを **“義のために迫害されてきた人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。わたしのために人々があなたがたをののしり、また迫害し、あなたがたに対し偽って様々の悪口を言う時には、あなたがたは、さいわいである。喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは大きい。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。”(マタイによる福音書 5:10 - 12)**と言いました．このようなイエス様の言葉をつかめば逼迫を乗り越える力を得るようになります．**第二**，患難があります．患難にあう時に次の言葉を信頼すれば所望を持って患難を勝つようになります．**“なぜなら、このしばらくの軽い患難は働いて、永遠の重い栄光を、あふれるばかりにわたしたちに得させるからである。わたしたちは、見えるものにではなく、見えないものに目を注ぐ．見えるものは一時的であり、見えないものは永遠につづくのである。”(コリント人への第二の手紙 4:17,18)**．**第三**，誘惑があります．誘惑を受ける時イエスキリストが見せてくれた本にそって聖書の言葉で誘惑を退けなければなりません．

“それだから、心の腰に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい．”(ペテロの第一の手紙 1:13)と言いました．イエスキリストの来臨が私たちに持って来る恵みが何ですか？

第一，世の中を審判なさるでしょう．
第二，聖徒たちは復活するようになるでしょう．
第三，各人が苦労したとおり神様のほめの言葉と賞を受けるでしょう．
第四，新しいエルサレム都に入って行くようになるでしょう．まるで花嫁がそのご主人のために飾りつけたことのように極めて美しくて燦爛たる都に入って行って永遠に神様とともに暮らすようになるでしょう．

結論をおっしゃって上げます．すべての事を真理の言葉とイエス様に結付して計画して判断しながら行動するのが真理で腰を縛るのです．神様に光栄を帰して神様の口約束を信じて，その言葉に従順して仕えることを受けるより仕えるのを力をつくすのが謙遜で腰を縛るのです．イエスキリストが来臨なさる時に受ける恵みをいつも期待するのが心の腰を縛るのです．聖徒の皆さんは 皆真理と謙遜で腰を縛ってまた気をつけて神様の来臨を望んで心の腰を縛って生きて行くように願いします．